

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			スペースの基準は満たしているが、1部屋に集まることもあるので、もう少し広ければ活動もしやすいかなと感じる。個別に対応できる部屋も出来たら良いが、現在は土間に畳を置くなどし、スペースを確保出来るように工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			職員の配置数は適切であり、有資格と経験者を配置し、よりよい支援が提供できるように工夫している。 土曜日の開館においては、希望はあるが常勤職員が不足し開館できない。これからもよい人材を確保できるように努力していきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	放デイで使うために、建てられたものではないので、工夫は必要である。 段差等も高く、不便さを感じることもある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			常に現状を見直し、その振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の方からの意見を参考に、今後の支援につなげていけるようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて、公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は行っていないが、今後必要であれば、評価していただけるように検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内の研修会を設けたり、施設外研修にも参加し、職員の資質向上につなげていく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもたちの状況の状況把握、保護者の方意見なども参考にしたうえで、計画を立てるようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			児の状況を把握するためにも、定期的にあセスメントを行い、支援内容を見直している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			大枠は、月の初めに行っているが細かな流れは、活動前に職員間で話し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎日、支援内容を工夫し、子どもたちにも飽きがないようプログラムを設定している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			放課後、休日に合わせた支援内容を計画し、子どもたちに提供できるようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			その子どもに合った支援、その日の状況に合った支援を提供できるように工夫し、計画している。

15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			前日の反省から、当日の支援の打ち合わせを行っている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了時、もしくは次の日に反省と次の支援につなげるための支援を計画立てている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、支援の様子を記録し、職員間で共有している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			適切な支援を提供できるようにいつも心がけている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			保護者や学校、相談員と情報共有できるように児発管が会議に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			相談専門員を通じて、定期的に、学校と連携出来る場を設けている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在は、その対象児はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			学校、保育所等と情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在は、まだそのような児はいないが、これから、卒業後の支援も丁寧に行っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修会に参加したり、個別に助言いただきたい児に関しては、専門家にアドバイスをいただいたりしてる。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	おこなっていないが、老人ホームの方々とは、毎年行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加できていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			帰りの時や、電話等で共通理解できるように努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレント・プログラムを行っているが、現在はコロナの為行えていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用の開始時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者から相談があった際には、その都度応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	以前は、子どもたちと、兄弟・保護者を招待し、保護者同士の交流の場を設けていたが、現在は、コロナの為、開催できていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			そのような時は、適切に対応できるようにしていきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、いきいきっ子だより国見を発行し、子どもたちの活動の様子を報告している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報には、十分配慮し、取り扱っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			その子どもに合った、ツールで情報を提供できるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		これまでは、秀溪まつりを開催して、地域の方々を招待していたが、現在はコロナの為できていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルを作成し、職員間で共有している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月1回、避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設けており、施設外研修に参加したり、職員内研修に参加し、意識向上を心がけている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			どのようなものが、身体拘束になるかを職員同士で確認しながら、日々支援にあたっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者からの聞き取りし、職員全体が把握し対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットを活用し、共有している。